

私郡山幼稚園

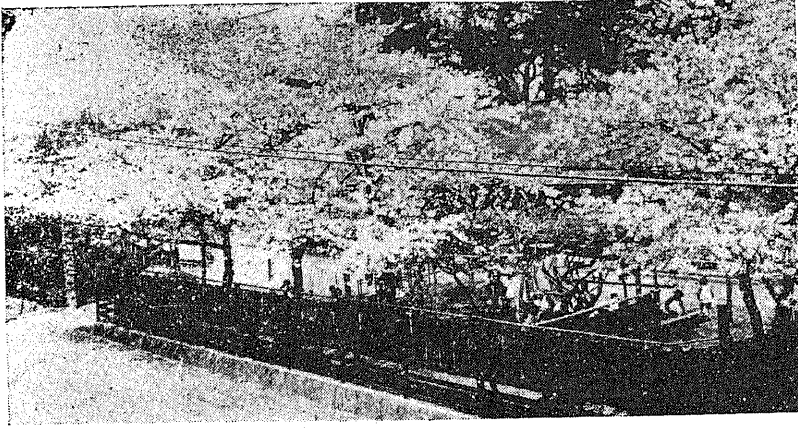
福島縣私立郡山幼稚園 松山イ子

一
最も古くして最も新らしいのは教育でありますから新、古織り交ぜて経験して参りました我が幼稚園の沿革及び保姆としての心境を申しませうか、小さな私の事業から受けた感懐を申し上げます。

社會に職業は澤山あります。如何なる職業もそれは神より與へられたる天職即ち聖業であります。聖業とは申すまでもなく其の職域を通して國家の聖業に参加されねばならない仕事であります。

創立に就いての順序は沿革に書かせて頂きますが、此の世に神が私共夫婦にお與へ下された聖業が幼稚園事業でありました事は、何といても有り難く忝ない事で、創立以來三十五年如何なる日も私共は此の仕事に殆ど心の全部をさへげて参りました。皇紀二千六百年の聲は日本の一大轉機として國家の聖業は大東亞に擴大されたのであります。ところが私の事業は此の聲と共に大きな致命傷を受けたのであります。それは事業上の土臺となり柱ともなり屋根ともなつてゐました前園長松山が「此の世の勉強是れで終り」の一言を残して此の世を去つた事であります。

國家は世界の指導者たる使命の遂行に命をかけて伸びて行くのに、反對に私の事業はぬばたまの暗闇に包まれて仕舞ひました。家庭即ち幼稚園、幼稚園即ち家庭であつた私達の生活は大きな打撃の中に幾日か苦悶の日が續きました。そして其の暗闇の世界に一つの光を見出しました。その光は「此の世の勉強是れで終り」といふ夫の残した一言で生れ代り死に代りて飽まで此の事業を守りおほせなければならぬといふ啓示でありました。逝きし夫が信念と努力によつて繼續された三十有餘年の歴史の中から生れた私の決意は「神と共にゆく」といふ言葉であります。國家は聖業完遂といふ言葉を頻りに呼びかけてゐます。神と共に行けばこそ聖業の二字が冠せられるのであると思ひます。國家は神と共に行くために國家の有つあらゆる力を總動員して絞り切つた生活の中に命をかけて力戦してゐます。此の時に當り私の一家も亦、小さい乍ら聖業のために命をかける決意を持ってこそ此の聖業が、國家の本流に参加する資格を天から與へられるのであると思ひました。「神と共にゆく」爲め、神の御守護を頂く爲めには、神の私に賜つた此の事業への神意を、先づ悟らねばならなかつたので



あります。

只今日本は八絃一字さいふ言葉の世界に向つて高く掲げてゐます。よく思ひめぐらします。此の八絃一字さいふ言葉は二千六百年史の中から生れた言葉ではない。存じま

す。

歴史が生んだ言葉でない此の言葉は歴史の前に生れてゐる神の理想を神武天皇によつて世界に宣言され給うたのであります。歴史には覺

えのない此の神の言葉の爲めに國家は擧げて、これに捧げてゐるのであります。

此の神國の聖業。私の事業がまるで何のか、はりもなく反對に致命傷を受けた時私は考へないわけには行かなくなりました。營利事業でない此の事業が、何故に今日に至つて斯くも大きな打撃を受けるのであるか。さいふ事でありませぬ。私は神意の程を探ねました。そして何か天の理にそむいた事はなかつたか。私の知つてゐる限り私の家の歴史には、かくも尊き事業を課せられた人のある事を知りませぬ。何ものにも代へ難き御國の楯となるべき幼児を丹精し大和魂の磨きをせねばならぬ。現實の證據の前に、歴史には覺えのない事實を事實として保育事業を繼がせて頂く事を得た私の幸福を神を通して夫の靈に感謝いたしました。今までは幼児を保育するのみ考へてゐました私は、澤山の幼児は私の魂を磨いて下さる大きな恩人である事を悟りました。今までの幼児に對する心遣ひを恥かしく思ひました。

そして、「有難う」「相濟まぬ」の心で一杯になりました。育てるのではない「育てさせて頂くのである」「教へるのではない」「教へられるのだ」「與へるのではない」「與へられるのだ」を思ひました。それ以來幼児の行動は美しく正しく視られ、園児にはいさかひなく保姆はお互姉妹の如く親し

く睦ましく、近年稀れに見る在籍二百名といふ多数の園児は五人の保母の手薄い中にも楽しく遊び暮して歸りの時間を惜しんでゐます。

二

事業方面も亦順當に運び、自分ながら不思議と思ふ位であります。夫の靈の御苦勞は申すまでもありませんが、神さまに連れて歩いて頂けるに確信して一切捧げる此の心を神様がお受け下さるのであらうと喜び勇んで勤めさせて頂いてゐますのは私ばかりではありません。お掃除役の小母さんを始め職員一同「己れの眼に映るものは一切己れの姿である」と感じて先づ自分を反省し然る後に保育の方法を立てます。敬神崇祖の情操涵養につとめ、『すなほに』正しく「かりにも長上にさからふ事なき様誘導させて頂いて居ります。

左に新舊保育の實際を二、三記させて頂きます。

三

園児數 二〇四名(内男児一〇〇名女児一〇四名)

園長 設立者 根本祐太郎

保母 六名

保育料

貳圓(錢) 創立當時は金四十錢、大正十二年一圓五十錢、昭和十六年十月迄十九年間一圓五拾錢を繼續す

組の編制

梅、櫻、松、竹、桃の五組として年齢によつて分ける。梅の組は二年児を以て編制す。

次に保育の實際につき二、三申上げます。

(一) 幼児は朝登園致しますと直ちに、奉安所前に至り最敬礼をなし、携帶品を所定の場所に置き自由遊びをいたします。九時半振鈴と共に幼児は何れも國旗塔の下に各組別に整列し、各組より輪番に二人づゝ出で、掲揚の任に當ります。終つて會集室に入り朝の挨拶を交はし、保母は時局のお話をいたし皇軍の御勞苦を感謝いたし、誓願の言葉を奉唱致します。

私達は

天皇陛下の御ために生れ

天皇陛下の御ために働き

天皇陛下の御ために死す

以上を奉唱して後はいつも確固たる信念を握んだ様な魂の輝きを見ますので涙がこぼれます。

(二) 神社参拜、祝祭日、戦勝記念日、靖國神社祭、奉公日等には必ず参拜いたします。皇道精神を合掌の中に頂けるやう祈禱し出征勇士の滅私奉公の忠誠に對し感謝の祈願を捧げ、銃後國民としての心構へを話し聞かせ日本に生れた幸福を喜び合ひます。

(三) お祭り遊び

支那事變勃發以來休止して居りますが、當園では毎年九月二十七、八、九日の三日間の當市の鎮守祭典行事を保育に織り込み、幼児の活動性に適應したるお祭り遊びを實行

して居ります。

先づ用意としては樽御輿一臺(四斗樽) 榊一臺(何れも車付) 大太鼓一荷、引手男女七十名程、神主一名、大麻司一名によつて始まります。

各兒の服装は兼て家庭での打合せにより男女兒何れも兄弟ゆづりの法被を着るもあり、女には當園保母の手になれる花笠を用ひさせ、黄金の手拭を頸に巻き伊達衆姿も輕がるに、大太鼓を先頭に榊車に、御輿に引き手は別れて綱を引く。司は大麻を持ちてお抜ひをなす。神主は身に添へたる烏帽子、束帶の崇高なるいでたちにて園長の指圖に従ふて、兼ねて定めたる道順に順次訪問して祝詞を上ぐ、立ち寄るべき家庭には(園兒の家庭)前以て通知して置きませす。樽御輿祝詞は左の通りであります。

カケマクモ、カシコキ、アサカクニツコジンジャノミコ
シノ、ミマヘニカシコミ、カシコミマオサク、コノイヘ
ノカナイアンゼン、オイヘハンジャウ、コクカアンタイ
チイノリ、マツラクト、カシコミカシコミマオス。

かくて半日をワツシヨクやれ引け、それ引けさかけ聲勇ましく此の遊びにまけこんで當園に引き返し、園内にて料理したおでんをたべ萬歳を三唱して終りさせていただきます。

(四) 秋季遠足薯掘會は發案をそのまゝ記します。

一、時日 昭和十五年十一月五日(土)

二、場所 市内菜根屋敷

三、會費 一人金十錢

四〇

四、目的 一、薯の觀察 二、自然に親しむ 三、勤勞生活に

よつて園難排除の一端に資す

五、準備 一、シヤヘル三十個 二、會費領收控作製 三、附

添の爲めに各組徽章作製 四、會員券(薯引替券作製の事)

一、保護者への文案

例年舉行いたし良好なる成績を収めて居ります薯掘遠足は明五日(土)從來と同一場所なる酒盆の菜根屋敷で行ひます。(當日雨天の時は延期し日を改めて申し上げます)

子供的大好物であるサツマ薯がどんな所にどんな風に育つてゐるかを知らしめるばかりでなく、自分の勤勞によつて得たる收穫の如何に愉快であるかを味はせたり又大地の育む偉大なる力は土に親むことによつて初めて判る事を直感せしめ度いものと存じます。就いては左記要項お含みの上母子御同伴にて半日の御清遊を御試み下さい。

一、幼兒には帽子をかぶらせ靴の底を十分御注意下され遠足に適當な御支度に願ひます

一、お辨當は成るべくお握りとし湯呑みをお忘れなくおつかはし下さい

一、お土産として生の薯を持ち歸らせますから有り合せの果物籠か布の袋など必ずお持ち下さい

一、薯畑では到着すぐにふかし立ての温いお薯を飴味して頂きます

一、當日の使用として御一人十錢づゝお持ち下さい 以上

四、母の會

(一) 昭和四年結成いたしました母の會は、爾來着々其の趣

旨に精進しつゝありましたが、當園としては、其の親達に再教育を施し且つ又幼児の母親のみに限らず、市内一般より會員を募りまして大東亞建設途上の我が國婦人の覺悟を將來成人すべき幼児の親としての保育法の研究をなし、非常時局にあつての婦人の心構へを正しく修得して頂く様に毎月一回開催して居ります。

開會の際には必ず「母の會の歌」を定刻まで練習合唱して心から此の會にめぐり合うた事を樂しみます。

イ、先づ講演に移る前に當日話すべき要項を印刷に附して渡しそれを見ながら講演を聞いて貰ひます。

時には縣の社會新聞記者作山先生や市内國民學校長の幼稚園に對する御希望やら入學に就いての御注意やら拜聴いたします。

ロ、保健上に就いては醫學博士より季節に於ける幼児の罹り易き病氣や、衛生等に就いての講演や、榮養食についての講習を行つたり又廢物利用の裁縫講習會等を主催いたします。

ハ、當園の誕生會には會長始め役員が出席して會食費の全部を支辨して下さいます、但し母の會費は一ヶ月十錢で我が子の籍が當園になくとも準會員として入會の方は一ヶ月六拾錢の會費で會員は相當にあります。

(二)視察見學としては

市内の煙草專賣局、裁判所に於ける公判廷見學、同紡績

會社、郵便局竝に電話交換局等を視察いたします。

かくして年十二回以上の集りを催して來りましたが、其中七回以上出席せられた會員には、年一回催します遊戯會の席上で園長より感謝狀を差上げます。名譽にかぐやく母の姿を見た時の幼児の嬉しさはさんなでせう。居ても起つても居られない表情です。家庭教育上有意義のものと思はれます。幼児の父母の中には幼き日常園に保育を受けたものなかく多く、私に取りては孫に當ることもいふて然るべく従つて家庭園との聯絡圓滑に運んで居ります。

五、誕生會

一、毎月十日に誕生會をいたします。其月生れのお子さんを正賓として、入場の際は拍手を以てお迎へいたします。

一人一人姓名を呼び上げます。呼ばれた祝のお子さんはお辭儀で答へます。保姆は日本に生れた忝なさを述べ、無事に成育した事の感謝と意義深き人生を最も尊く生き抜いて忠孝の道を守る事を訓じます。幼兒一同の代表者からはお祝として桃太郎誕生の貼り紙細工の柱掛及紙製籠に入れた祝鯛を贈る事にしますが、幼兒の喜びは滿面に溢れて見えます。終つて季節の果物を會食し、保姆は人形芝居や又は紙芝居なごを、幼兒は幼兒の紙芝居や好きな遊戯や唱歌等の余興をいたします。此誕生會は行事の中で最もたのしいつきひです。